

第2回 ご当地！絶品うまいもん甲子園 アフターレポート



高校生最大の食企画
第2回ご当地！絶品うまいもん甲子園

主催：農林水産省
一般社団法人全国食の甲子園協会

ご当地！絶品 | がんばれ 高校生！ うまいもん 甲子園

このたび、第2回「ご当地！絶品うまいもん甲子園」の決勝大会を2013年11月1日に、実売イベントを11月2日・3日に行い、合計3日間に渡り開催いたしました。

農林水産系の高校生が主役となって地域の活性化を目的とした当企画は、決勝大会翌日の丸の内仲通りで行われた実食イベントも合わせて大盛況のうちに開催を終えることができました。

昨年は農業系高校のみが対象となっておりましたが、今年は水産系高校も対象に募集を行い、応募の総数は58校、138チーム、応募者の総数は414名でした。

また、今年は1次審査の書類選考を行ってから、全国7エリアにて2次審査の地方予選大会を開催し、昨年よりもレベルの高い戦いとなり、更なる広がりを見せることが出来ました。

11月1日の決勝大会では、地方予選を勝ち抜いた12校によるオリジナルメニューの試食・プレゼンテーションを審査員長である、服部幸應先生を中心に三國清三シェフやAKB48北原里英さん等、5名の審査員の方が審査を行い、表彰式では、林 芳正農林水産大臣に、農林水産大臣賞の授与とご挨拶をいただきました。

そして実売イベントは、11月2日～3日に約20万人の来場者を記録した農林水産省主催 食と農林漁業の祭典「JAPAN FOOD FESTA2013」と連動し、協力会社による各学校のレシピを再現したメニューの実売イベントを行いました。11月2日は天候が悪く、それでも用意していた商品がほぼ完売し、3日はイベント開始2時間以内で、全商品が完売するという大盛況で終わる事が出来ました。

第2回ご当地！絶品うまいもん甲子園の様子は、各地域のTV局、新聞社を中心に、地方予選から決勝大会まで密着取材として様々な情報が発信された他、決勝大会当日の様子は、全国放送のテレビ番組を中心に、約40社のメディアにて発信され、さらにNHK総合では、12月28日に年末特別番組「高校生青春グルメうまいもん甲子園」が放送されました。

このような形で、第2回大会を実施出来た事は、当社団法人にとってとても貴重な財産となりました。そして、何より参加いただいた生徒の皆さまを始め、学校、先生、そして、当企画にご協力いただきました企業・団体の皆様のご支援の賜物であると深く感謝しております。

今後も高校生の夢を応援する食企画として「夢の舞台の創造」「地域活性化」「人材育成」をコンセプトに、その分野でがんばっている高校生の姿を沢山の方に届けて、日本を元気にしていくような企画にしていきたいと考えております。

本企画を通じて、ご当地のオリジナル商品開発や生産者と消費者を結ぶ場が提供できるような取り組みも予定しておりますため、今後ご期待下さい。

なお、第3回「ご当地！絶品うまいもん甲子園」は来年度も同時期に実施予定です。



一般社団法人

全国食の甲子園協会

【企画概要】

名称 第2回ご当地！絶品うまいもん甲子園
 主催 農林水産省、一般社団法人全国食の甲子園協会
 協賛 株式会社日本アクセス、株式会社日本旅行、株式会社サカタのタネ、味の素株式会社、株式会社インテグレーション
 後援 朝日新聞社、全国農業高等学校長協会、日本学校農業クラブ連盟、全国水産高等学校長協会
 協力 東京ガス株式会社、北海道ガス株式会社、仙台市ガス局、東彩ガス株式会社、東邦ガス株式会社
 大阪ガス株式会社、広島ガス株式会社、西部ガス株式会社
 対象 農業系高等学校約360校、水産系高等学校約50校合わせた約410校
 概要 オリジナルメニューの考案・調理・プレゼンテーションによる料理コンテスト大会
 テーマ 「ご当地食材を活かした、若者が食べたくなる絶品グルメ」
 特典 【最優秀校・・・1校】 農林水産大臣賞&海外研修
 【優秀校・・・2校】 水産庁長官賞、食料産業局長賞
 【特別賞・・・2校】 審査員特別賞、サカタのタネ賞
 期間 2013年5月31日～2014年3月31日

【企画趣旨】

「ご当地！絶品うまいもん甲子園」は、将来の農林漁業の担い手となる若者の夢を応援し、農山漁村の6次産業化を通じて地域活性化に繋げていくことを目的として、全国の農林漁業に関わる高校生が、日本の「食」や「食材」、「食文化」の素晴らしさや奥深さを理解し、地域の特産物を創意工夫して調理した「ご当地！絶品うまいもん」の日本一を決める料理コンテストです。

【コンセプト】

■ 夢の舞台を創造

高校生が夢を持ち、叶えられる舞台

■ 人材育成

商品の開発、製造、宣伝、販売等のビジネスの流れを経験し今後、食・農業に関する分野で活躍する人材育成

■ 地域活性化

各都道府県にある名産物、特産物を活かしたPRを行う事で「地産全消」を目指し地域活性化のキッカケ作り

【目標】

食や農林水産業を通じて、高校生の夢を応援し、地域を盛り上げ日本を元気にする

【第2回大会の流れ】

6月1日～7月9日	7月10日～10日	7月12日	8月1日～8月31日	9月18日	11月1日	11月2日・3日
募集期間	1次審査期間	1次審査選考発表	2次審査期間	決勝進出校記者発表	決勝大会	実売イベント

【発起人】

文化起業家 藤田 志穂（ふじた しほ）

一般社団法人全国食の甲子園協会 会長 兼
 Office G-Revo株式会社 相談役

【プロフィール】

千葉県出身。1985年生まれ。
 高校卒業後ギャルのイメージを一新させる「ギャル革命」を掲げ、19歳で起業、ギャルの特性を活かしたマーケティング会社を設立した。
 2008年12月末に社長業を退任、現在は高校生の夢を応援する食の甲子園「ご当地！絶品うまいもん甲子園」を企画し、全国の高校生との交流を通じて、人材育成や地域活性化を行っている。



H P



フェイスブック



記者発表用パネル



ポスター（都内駅約100か所で掲載）



スタッフジャンパー



エプロン



イベントボード（大・小）

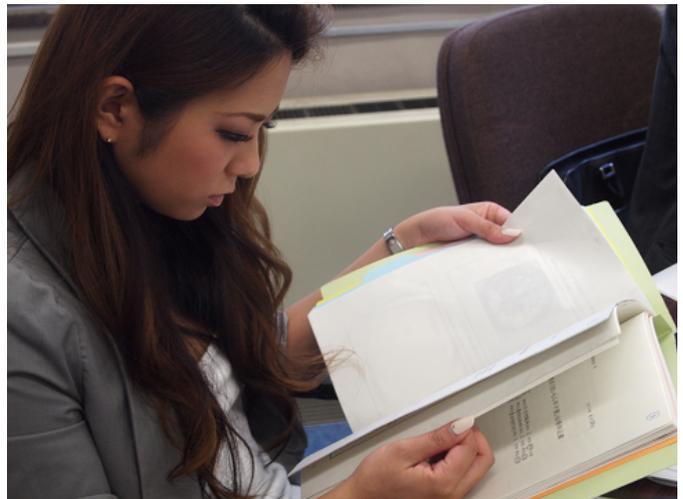


イベントパネル（1～5）



【日時】 2013年7月12日(金) 10:00~13:00
【場所】 農林水産省
【審査員】 張江 雄司(農林水産省)
角谷 磨美(農林水産省)
藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
谷川 佳(一般社団法人 全国食の甲子園協会)
渡辺 雄平様(株式会社 電通)
鈴木 結美子様(株式会社 電通)

【応募数】 全国より58校138チーム



審査員による審査にて、地方予選に出場する、各エリア5チームを選出しました

【日時】 2013年8月2日(金) 12:00~14:30
【場所】 東彩ガス 彩life館 料理教室クルール
【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
鶴見 和良(農林水産省 関東農政局 経営・事業支援部長)
荻崎 友宏様(料理マスタース受賞 チャイニーズレストラン「エッセンス」オーナー)

【出場校&メニュー】

① 栃木県立真岡北陵高等学校
「にらピース小籠包」



② 栃木県立宇都宮白楊高等学校
「アスパラによきっ!!餃子プレート」



③ 群馬県立勢多農林高等学校
「ころころ茶づけ」



④ 茨城県立水戸農業高等学校
「スタミナ風常陸焼きソバ」



⑤ 新潟県立海洋高等学校
「さけ醤油ペペロンチーノ」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【日時】 2013年8月9日(金) 12:00~14:30
【場所】 東邦ガス キッキングサロン今池
【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
清家 英貴(農林水産省 東海農政局次長)
今別府 靖子様(料理研究家・栄養士)

【出場校&メニュー】

①三重県立相可高等学校
「免許皆伝 忍法伊賀巻」



②愛知県立安城農林高等学校
「～明治用水の恵み～日本デンマーク寿司」



③石川県立七尾東雲高等学校
「能登里山里海海鮮ナマコ揚げピッツァ」



④静岡県立焼津水産高等学校
「マグコロカレーパン」



⑤愛知県立田口高等学校
「ガッツリ ジビエ・ドリア『シメ・ラタシ』」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【日時】 2013年8月19日(月) 12:00~14:30
【場所】 北ガスショールーム サガティック
【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
小林 秀典(農林水産省 北海道農政事務所 次長)
坂井 美恵子様(北ガスッキングスクール 統括主任講師)

【出場校&メニュー】

①北海道岩見沢農業高等学校
「北の大地から 岩農豚丼おにぎり」



②北海道標茶高等学校
「やっぱりさっぱりおろしの標茶丼1号2号」



③北海道厚岸翔洋高等学校
「カキぼん酢のペロンチーノ」



④北海道小樽水産高等学校
「樽水発 小樽ニンバーガー」



⑤北海道帯広農業高等学校
「帯農ミートボール」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【日時】 2013年8月21日(月) 12:00~14:30
 【場所】 仙台市ガス局ショールーム ガスサロン
 【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
 岩本 隼人(農林水産省 東北農政局次長)
 三浦 博様(創作ダイニング「スタート」オーナー)

【出場校&メニュー】

①宮城県農業高等学校
「杜の都のフワトロオムトマカレー」



②山形県立村山農業高等学校
「芋煮ドリア」



③宮城県農業高等学校
「伊達なハイカラぎょーぞ」



④秋田県立秋田北鷹高等学校
「華麗(カレー)なコロポ」



⑤青森県立柏木農業高等学校
「めじゃーイガメンチ棒」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【日時】 2013年8月26日(月) 12:00~14:30
 【場所】 広島ガスショールーム ガストピアセンター
 【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
 岩片 弘信(農林水産省 中国四国農政局次長)
 薮崎 友宏様(料理マスタース受賞 チャイニーズレストラン「エッセンス」オーナー)

【出場校&メニュー】

①愛媛県立大洲農業高等学校
「大洲芋のすいもとん」



②愛媛県立宇和島水産高等学校
「マハタぶるるん丼」



③島根県立浜田水産高等学校
「華麗なる魚まん」



④島根県立隠岐水産高等学校
「闘牛ブリバーガー」



⑤徳島県立城西高等学校
「カツ天ドリア」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【日時】 2013年8月27日(火) 12:00~14:30
 【場所】 大阪ガスショールーム 生活誕生館ディパ
 【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
 志田 孝一(農林水産省 近畿農政局次長)
 薮崎 友宏様(料理マスタース受賞 チャイニーズレストラン「エッセンス」オーナー)

【出場校&メニュー】

①兵庫県立香住高等学校
 「但馬の国 まるかじりイカ炭バケット」



②滋賀県立湖南農業高等学校
 「湖南農業高校特産物★カレーつけ麺」



③大阪府立能勢高等学校
 「からくり酢豚丼」



④京都府立桂高等学校
 「これが京野菜や!うまっ!!精進カレー」



⑤奈良県立磯城野高等学校
 「ほん奈良!!カレー」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

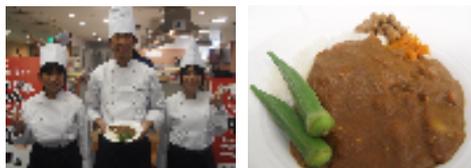
【日時】 2013年8月31日(火) 12:00~14:30
 【場所】 西部ガス 高宮ショールーム
 【審査員】 藤田 志穂(一般社団法人 全国食の甲子園協会 会長)
 氣多 正(農林水産省 九州農政局次長)
 宮本 健真様(料理マスタース受賞 「レストランテミヤモト」オーナー)

【出場校&メニュー】

①福岡県立久留米筑水高等学校
 「うまかばい!!!博多地どりの八女茶バーガー」



②福岡県立福岡農業高等学校
 「カレーに粘ってさらっと合格する梅」



③熊本県立鹿本農業高等学校
 「クマロコ」



④沖縄県立中部農林高等学校
 「ムルうるまジャージャー麺」



⑤鹿児島県立山川高等学校
 「山川高校おすすめ!!うんまかおむすび」



【調理】



各校30分の調理時間で、最終調理、盛付け、プレゼンテーションの準備をしました。

【試食・プレゼンテーション】



コンテスト用に調理した料理を、審査員3名が試食。採点方式で評価していただきました。

【記者発表】

9月18日 農林水産省にて、
決勝進出の12校を発表



【ドラフト会議】

7月18日にインテックス大阪、7月25日に埼玉スーパーアリーナ、
11月12日にはパシフィック横浜にて開催



決勝大会(概要及び出演者一覧)

【日時】 2013年11月1日(金) 11:00~16:00

【場所】 東京ガス スタジオプラスジーキング

農林水産大臣
林 芳正



閉会の挨拶及び農林水産大臣賞の授与

一般社団法人食の甲子園協会
会長 藤田志穂



開会の挨拶及び副賞の授与

服部栄養専門学校
校長 服部幸應 様



審査員長及び総評

水産庁
長官 本川 一善



水産庁長官賞の授与

食料産業局
局長 山下 正行



食料産業局長賞の授与

AKB48 北原里英 様



特別審査員

「ホテル ドゥ ミクニ」
オーナーシェフ 三國 清三 様



審査員

農林水産省 食料産業局
外食産業室 室長 山口 靖



審査員

株式会社日本アクセス
取締役常務執行役員 中谷 滋 様



審査員

©2013 s-koshien inc.

①奈良県立磯城野高等学校「ほん奈良！！カレー」



②静岡県立焼津水産高等学校「マグコロカレーパン」



③群馬県立勢多農林高等学校「ころころ茶づけ」



④愛媛県立宇和島水産高等学校「マハタがるん丼」



⑤熊本県立鹿本農業高等学校「クマロコ」



⑥愛知県立安城農林高等学校「～明治用水の恵み～日本デンマーク寿司」



⑦沖縄県立中部農林高等学校「ムルうるまジャーチャー麺」



⑧北海道厚岸翔洋高等学校「カキぼん酢のペロンチーノ」



⑨栃木県立宇都宮白楊高等学校「アスパラによきと！餃子プレート」



⑩宮城県農業高等学校「伊達なハイカラぎよーざ」



⑪島根県立隠岐水産高等学校「闘牛ブリバーガー」



⑫青森県立柏木農業高等学校「めじゃーイガメンチ棒」



【開会式】



【選手宣誓】



選手宣誓は、宮城県農業高等学校 3年生 寺井 澪さん
発起人の藤田志穂や、審査員も熱く見つめています





各校 30 分の調理時間で可能な範囲で下準備をし、制限時間 30 分間で調理をしました。



プレゼンテーション後、審査員が試食を行い、それぞれの観点からのコメントをしていただきました。

優勝 農林水産大臣賞 宮城県農業高等学校！！



準優勝 水産庁長官賞
島根県立隠岐水産高等学校

準優勝 食料産業局長賞
沖縄県立中部農林高等学校



審査員特別賞
熊本県立鹿本農業高等学校



【閉会の挨拶】林 芳正大臣ご挨拶



最後にみんなで、「ご当地！絶品うまいもん甲子園！」と元気に声掛けをして、無事に大会は終了いたしました。皆様、お疲れ様でした。

【メディア取材】



会場にはTV・新聞のメディアが殺到しました（約20社）

【日時】 2013年11月2日（土）、3日（日） 11：00～16：00

【場所】 東京丸の内仲通りジャパンフードフェスタ2013会場内

【内容】 第2回ご当地！絶品うまいもん甲子園決勝大会に出場したメニューのアレンジ商品販売

【来場者】 約20万人（2日間、ジャパンフードフェスタ2013会場全ての来場者数）

【メディア】 約30社（TV、新聞、WEB、雑誌等）



決勝大会後、11/2・3の2日間、ジャパンフードフェスタ2013の会場では、実売イベントとして製造業者様に再現していただいたメニューを販売しました。



林 芳正大臣にもご購入いただき、召し上がっていただきました。



着物ガイド付きツアーの海外観光客にも日本食を売り込みます。



自分の学校が完売したら、他校をお手伝い。皆で完売を目指します。



お昼過ぎには用意していた全ての商品が無事に完売！
参加していただきました高校生、担任の先生、3日間本当にお疲れさまでした。

【テレビ】

地方大会

- ・8月2日 テレビ東京 「ワールドビジネスサテライト」
- ・8月14日 テレビ静岡
- ・8月19日 北海道放送
- ・8月21日 東日本放送
- ・8月21日 ミヤギテレビ
- ・8月21日 さくらんぼテレビ
- ・8月21日 青森テレビ
- ・8月26日 広島テレビ
- ・9月4日 テレビ西日本
- ・9月4日 福岡放送
- ・9月4日 熊本朝日放送
- ・9月4日 NHK松山
- ・9月4日 沖縄テレビ

決勝大会

- ・11月1日 TBS ニュース23
- ・11月2日 TBS 情報7days
- ・11月2日 テレビ朝日 スーパーJチャンネル
- ・11月2日 テレビ朝日 ポータル
- ・11月4日 熊本朝日放送
- ・11月6日 仙台放送
- ・11月4日 青森テレビ
- ・11月5日 テレビ静岡
- ・11月18日 日本テレビ news every.

【TBS news23】



【TBS 情報7days】



第2回大会全体

- ・2013年12月28日 NHK総合 「高校生青春グルメ うまいもん甲子園」

【テレビ東京 WBS】



【テレビ朝日 スーパーJチャンネル】



【新聞】

- ・7月30日 中日新聞
- ・7月31日 新潟日報
- ・8月7日 朝日新聞
- ・8月13日 中日新聞
- ・8月31日 南日本新聞
- ・8月31日 読売新聞

【雑誌】

- ・10月20日 朝日新聞朝刊
- ・11月1日 朝日新聞デジタル
- ・11月6日 水産経済新聞
- ・11月6日 日本農業新聞
- ・11月6日 時事通信社
- ・月刊ソコト8月号
- ・チェーンストアエイジ
- ・サカタのタネ（野菜特集2013）
- ・彩ライフ（東彩ガス発行）
- ・12月 リーダーシップ



第3回大会 2014年4月 始動予定！



一般社団法人全国食の甲子園協会 会長 兼
Office G-Revo株式会社 相談役

元ギャル社長、ノギャルプロジェクト発起人、うまいもん甲子園発起人
大人と子供、文化と伝統、地方と都会を結ぶ掛け橋としての活動中

ギャル革命、ギャル社長 (19歳～)

高校卒業後、ギャルでも出来る事を
証明する為に、マーケティング会社
「シホ有限会社G-Revo」を設立。



環境・エコへの取組み (21歳～)

藤田が行う清掃活動は全国のギャル
に伝わった。エコライフ・フェア2006
では当時環境大臣だった
「小池百合子氏」を迎えイベントに出席。



ノギャルプロジェクト (24歳～)

若者が食や農業に興味を持つきっかけを作る為に立ち上げた。秋田県大潟村でのシヤマ
米作り、ギャルママ親子野菜収穫ツアーや、EDWINとイケてる作業着の開発など
様々な角度から若者目線での農業プロジェクトを行った、「ノギャル」と言葉は2009年の
流行語大賞にもノミネートされ大きな話題になった。



★現在★ うまいもん甲子園発起人 (26歳～28歳)

イベント活動と並行して、ギャルマーケティング会社でのギャル社長時代からノギャル、
そして現在の文化起業家としての経験で感じたこと・若者・大人への「きっかけ作り」を伝えるために、
全国の学校・企業・行政でのイベントや講演会も年間を通して精力的に行っています。



北海道農業法人



徳島県立科学技術高校



アグリビジネスサミット



横浜市水道局



JA長野青年部

藤田志穂 講演会のご相談・お問合せ・・・03-6407-9694

Office G-Revo株式会社 東京都渋谷区神山町7-15 4F

高校生青春グルメ「うまいもん甲子園」放送



【放送日程】 2013年12月28日(土)

【放送局】NHK総合

【時間】 16:00～16:59

第2回ご当地！絶品うまいもん甲子園における予選から涙と感動の決勝大会までを豪華出演者による解説で放送しました。

【出演者】 宮川大輔
綾部祐二
柴田理恵
春香クリスティーン
藤田志穂(発起人)
古賀 一 (NHKアナウンサー)